

視 察 報 告 概 要

- 1 視 察 日 時 平成30年5月10日（木）
 午前10時00分 から 午前11時30分 まで

- 2 視察先及び視察事項
 - ・視 察 先 埼玉県志木市
 - ・視察事項 学校施設の複合化について

3 視察の目的

所沢市では、小中学校の全普通教室数のうち約3割が余裕教室となっており、それらは現在、少人数使用教室などとして使用している。児童生徒数については、平成17年からほぼ横ばいで推移し、将来は減少することが予想されていることから、今後、教育環境の整備と学校施設の有効利用についての検討がより求められるものと考えている。

志木市では、志木小学校と、近接する公民館・図書館の建物の老朽化・耐震化問題の解決策として、地域コミュニティに支えられた学社融合施設を整備しており、先進的かつニーズに対応した取り組みがなされていることから、今後の審査の参考とするため視察を行った。

4 視察の概要

志木市教育政策部いろは遊学館館長から視察事項の説明を受け、いろは遊学館・志木小学校・いろは遊学図書館の見学を行った。その後、質疑応答、島田市民文教常任委員長による御礼の挨拶を行い、視察を終了した。

(1) 複合化に至った経緯

旧志木小学校・旧志木公民館・旧志木図書館の建物の老朽化及び耐震性等の問題を一度に解消するため、平成9年に庁内プロジェクトチームを設置し、行政面からの問題点を研究・検討を始めた。平成11年には公募を含めた関係団体の市民で構成する「志木小学校・公民館・図書館複合施設検討委員会」を発足し、市民・関係者の意見を反映し、先進事例の研究・視察や基本構想策定、基本設計より実施設計まで具体的な施設計画を検討した。

子どもたちを地域ぐるみで育てていくコミュニティスクールを目指すとともに、地域におけるコミュニティの拠点を形成し、地域に開かれた学校をつくるため、学社融合の複合施設とした。

平成13年度に建築工事を開始し、平成15年4月に施設オープンとなった。

(2) 施設の概要

建物のなかに、小学校・図書館・公民館の各施設が入り交じっていることが大きな特色である。機能的な連携を密接に確保でき、相互利用、共同利用可能なことから、学習環境が高度化された生涯学習のための総合的・一体的な施設となっている。また、施設を休むことなく有効活用できる。

施設は主に、小学校普通教室棟、小学校特別教室・職員室他管理諸室や図書館及び公民館機能のいろは遊学館棟、大規模改造工事を行った既存南校舎棟の3ブロックで構成されている。普通教室棟といろは遊学館棟の間の2階床面には、児童と一般利用者が自然な形で交流できる、ガラス屋根を設けた半屋外空間のスクールガーデンを設置している。

普通教室棟は廊下側の間仕切りを設置しないオープンスタイルとし、多様な学習形態や集団形態が可能なため、多彩な教育活動が実践できる。また、教室風景が常時公開され、公教育の公開性に対応している。

(3) 費用

建設工事等経費は約32億6,000万円、歳入のうち補助金等は学校分のみで約5億7,000万円が交付された。

管理運営費は、清掃費用を除く全ての費用について面積割合の8:2で按分することとしている。清掃については、学校は児童が行うため、1:9となっている。

(4) 実績と効果

社会に対して「開かれた学校」となり、各施設の事業と行事、学習内容とのクロスカリキュラムによる交流活動や、日常的に地域の人々とふれあうことによる社会性の形成など、「地域ぐるみ」で子どもたちをともに育てていくという視点に立った学校教育の推進を図ることができる。また、地域の方々が生涯学習の一環として施設を利用する中で児童との交流が図られ、児童・市民に教育の相乗効果が生まれる。

(5) 課題と対応

子どもたちを地域の人々が守り育て、市民を含めた多くの大人の目があることから、現行の学校施設より安全性が高まるという観点がある一方、不特定多数の人が入館できるという点において、防犯対策に非常に神経をつかう。入館証の着用や、防犯カメラの設置、ガラス張りの建物、全ての教員・職員のPHSの常時携帯などで対応している。地域コミュニティが固定化していないような、人口の流出入の多い地域には勧められない。

施設の維持管理については、全館対応型の設備のため個々の対応が大変難しい。空調の故障があっても、その部屋だけを修理したり代替設備を設置したりすることができなかった。

5 質疑応答

質疑 維持については苦労があるようだが、いかがか。

応答 学校設備のことであっても全体として考えていかなければなりません。目先のことだけではなく、20年先、30年先のことを考えてつくるのがよいと思います。簡単に取りかえられるようなつくりがよいと思います。電気系ものは特にそう感じます。

質疑 大規模修繕の計画はどのようになっているか。

応答 計画はありますが、エアコン関係の修繕のため計画からずれてきています。今年、全館のエアコン点検を行います。点検だけで何千万円という費用がかかります。その後、どこから修繕するかという詳しい計画をつくる予定です。

質疑 学校であれば夏休みに大規模修繕をすればよいと考えがちだが、複合施設の場合はどんなタイミングで行うのか。

応答 大規模改修であれば公民館を休みます。学校の夏休みなどの長期の休みに行うしかありません。通常のメンテナンスにおいても、校長・教頭、図書館長、遊学館長で綿密なスケジュール協議を行なっています。

6 所感

所沢市の学校施設は、築40年から50年のものが多く、余裕教室も30%もある。今後、少子化と老朽化により建てかえや大規模修繕の議論が必要となるが、現状ではそうした計画を所沢市は持っていないのが現状である。

しかし、建てかえなどを行う計画を立てた時、余裕教室の多さと少子化傾向を考慮した時、複合化は避けられないと視察を通して再認識した。どういう形で複合化を進めるのか、その手法はどうするのかなど、まだまだ研究が必要である。今回の視察を、建設的な議論に役立てたい。